

福祉用具講習会のご案内

要介護者・介護者双方にとって安心・安全な

持ち上げない・引きずらない「ノーリフティングケア」を目指して

1. 目的

近年、医療・介護施設の腰痛の発生は増加が続き、厚生労働省労働基準局において、「職場における腰痛予防対策指針」の中で、医療・介護に関する業務について、安全衛生管理体制や腰部に負担の少ない介護方法など、腰痛予防対策が検討され、平成25年に改訂されました。

また、医療・介護を受ける対象者への持ち上げる・引きずるといった行為で起こる精神的な不安や恐怖、身体的な褥瘡や拘縮といった二次障がいに対しても予防をしていく必要があります。

本講習会は、普段何気なく行っている行為で、要介護者、医療・介護従事者双方にどのようなリスクが起きているのかを理解し、それらの予防につながる福祉用具を活用して行う安心・安全な介護の普及を目的に実施いたします。この講習会にご参加いただき、各事業所内での介護や職員への指導、在宅家族介護者への助言にお役立ていただきたいと思います。

2. 月日・会場

2021年 1月27日 きさいや広場 宇和島市弁天町1-318-16

3. 日程

9:00 受付

9:30 講義「要介護者・介護者双方のリスクの理解と予防について」
演習①現状の確認と対策・・・活用したい福祉用具の紹介

12:00 昼食休憩

13:00 演習② 摩擦軽減シートやボードを使用しての移動や移乗
持ち上げない・引きずらない介護「ノーリフティングケア」に挑戦！

16:00 終了予定

4. 主催

愛媛県社会福祉協議会 愛媛県介護実習・普及センター

この講習会は、愛媛県福祉用具・住宅改修活用推進事業の基礎研修会として開催します。

5. 運営

愛媛県福祉サービス協会

6. 講師

愛媛県社会福祉協議会 介護実技普及指導員

腰痛予防労働衛生教育インストラクター（中央労働災害防止協会）

守谷 理佐 氏（介護福祉士）ほか 3名予定

7. 参加者

看護師・ヘルパー・介護福祉士・ケアマネージャー・福祉用具貸与事業者等
職務実績 2年以上で 地域・職域で指導的な活動ができる方。

8. 資料・研修費

3,000円 当日受付にてお支払いください。

9. 募集定員

20名

実技を伴うため、トレーニングウェア等実習のできる服装でご参加下さい。

10. 申し込み

別紙申込書にてFAXまたはメールにて申し込んでください。1月15日締め切り

11. 問い合わせ

愛媛県福祉サービス協会 事務局 近藤

展示場直通 TEL 089-921-8348 FAX 089-921-8397

ノーリフティングケア 厚生労働省も評価 厚労省提案 腰痛防止へ来年度から・・・

厚生労働省は来年4月に控える次の介護報酬改定で、
利用者を抱え上げないノーリフティングが介護職の腰痛を防ぐ効果があり、
業務負担の軽減や職場への定着につながるとみている・・・

報酬上のインセンティブを新たに設け、実践する現場を更に増やしていきたいと考えた。既存の加算の仕組みを活用した評価を検討するという。委員の多くが賛意を示した。

厚労省は年内にも大枠の方針を決定する。現在、対象サービスや算定要件などをめぐる詰め調整を進めている模様だ。近く改めて具体策を提案するとみられる。

基本的に利用者を抱え上げない、引きずらない安全な介助の方法。それがノーリフティングケアだ。介護職の力のみ任せ移乗をなるべく避け、個々の状態像や心情なども十分に考慮して適切に福祉機器・用具を使う。オーストラリアの看護連盟などによる腰痛防止策が紹介されてから、ノーリフティングケアの提唱が始まりだと解説している。

第192回社会

保障審議会介護給付費分科会資料 より

参加者受付定員 20名 です
ノーリフティングケア「抱え上げない介護」
摩擦軽減用具で腰痛対策と褥瘡予防

今回の講習で 取り組みの紹介・・・⇒解決へ！！

持ち上げる介助で腰痛に悩んでいる

拘縮の方が多く困っている

摩擦とズレを起こし、

褥瘡を悪化している、

こんな現状で悩んでいませんか？

社会福祉施設や医療分野等においては、雇用労働者数が過去 10 年で約 2 倍と急増しており、災害増加率は、それを上回ってこの 10 年で約 2.5 倍近くになっています。特に腰痛については、社会福祉施設をはじめとする保健衛生業において、最近の 10 年間で 2.7 倍に増加しています。

また、平成 25 年 6 月に厚生労働省が公表した「職場における腰痛予防対策指針」においては、「労働者には腰痛の発生に関する要因とその回避・低減措置について適切な情報を与え、十分な教育・訓練ができる体制を確立すること」としています。

今回の研修は、以上のことを踏まえ、福祉・医療分野において、腰痛予防のために、適切な福祉用具の取扱方法を学ぶ実習を多く取り入れ、その正しい取り扱い方と知識を習得し、広めることにより、腰痛予防対策の周知と推進を図ることを目的に実施するものです。

あなたの介護が褥瘡・拘縮を作っていませんか

介護で腰痛に悩んでいませんか

拘縮・褥瘡予防と腰痛予防への取り組みを実行してみませんか

- 摩擦とズレが褥瘡を作る・・・スライディングシートは、褥瘡予防に欠かせない
- 褥瘡予防に体圧分散と徐圧・・・マルチグローブはあなたの必需品
- 腰痛の原因を理解する・・・腰痛予防対策指針をご存知ですか？
- 介護技術の見直し・・・腰痛になってあたりまえ？・・・安全な介護への提案
- 抱え上げない介護・・・体位変換と摩擦軽減用具移乗・・・実技の習得
- 福祉用具を利用する・・・利用者・介護者双方の安全が重要です

講習会にて使用する用具の紹介

①スピラドゥ・・・更衣や弾性ソックスを履く実技指導

福祉用具紹介 [スピラドゥ]は、対象者と介助者の動きを妨げる摩擦を軽減する目的のシートで、移動・移乗、寝返り、更衣や弾性ソックスを履く時等、人が動く際にお使いいただくための商品です。 ウェブ検索結果 「スピラドゥ」で検索ください

スピラドゥ日本サイト spilerdug.jp/

Spilerdug@デンマーク



QR kode til videoer

QR コードを読み取って 動画サイトへ

あらゆる方向に滑る スライディングシート

スピラドゥ

使いやすいサイズで
お求めやすい価格のカット版です。



講習会にて使用する用具紹介

②マルチグローブ 除圧・体位変換に

※介助する方が腕にはめて、ご本人様の身体の下に差し込みます。
腕の厚みで身体を浮かせ、滑らせて移動できます
内側は作業しやすいように滑りにくい素材を使用



③体位変換補助シート

介助時に体と寝具の間に敷き込むことで
寝具上での移動や体位変換時に発生する摩擦を
大幅に減らします

(利用者の声) 体位変換シートは多くの介護現場でも使用されているそうです。筒状のナイロン製シートで、体の下に敷いて使うのですが、これを使うと移動や移乗が少しの力で出来てしまいます。ホントこれがあるのとないのでは、雲泥の差！ほとんど力を入れなくて済むので重宝しています。



【スライディングシートの使い方】

体位変換用に様々な「スライディングシート」が販売されています。今回は「移座えもんブラック」をデモに **サイズ 特S・M・ML** と各種紹介します。介護する側・される側、共に楽に移動が出来るすぐれ物褥瘡の予防にもなる、使い方を理解しないと、せっかくの優れ物♪も、いまいちってことになります
この講習会の実技を学び、明日から実践できます

その他 各種メーカーの商品も紹介します
ウィズ製 トランスファーシート
タイカ製 スマイルシート・・・・等

